



浜小だより

茅ヶ崎市立浜須賀小学校

2024年1月9日

1月号

学校教育目標 「未来をひらく浜小の子」～遊ぶ 学ぶ 助け合う～

校長 青柳 和富

「子どもの心のエンジンの始動を支えるために」

2024年、オリンピック・パラリンピックイヤー（閏年）を迎えました。2020東京オリンピックが1年延期して行われたこともあるからなのか、時の流れの速さを感じます。2024年が皆様にとってよい1年となることを心よりお祈り申し上げます。

日本の社会は4月から翌年3月を一区切りとする会計、学校、事業等年度制を取り入れていることから、学校における1月は、1年の始まりと同時に、学年のまとめの時期の始まりという捉えになります。

学校の良さは、季節ごとに休業（学校課業日は概ね200日間、休業は春夏秋冬合わせて66日間）を置くことで学習や生活の節目を作っているところです。学びの継続はもちろん大切ですが、土日をはさんで新たな1週間が始まることと同様に、心身（特に心）をリフレッシュする時間を享受できる季節ごとの休業は、子どもたちがエンジンを再始動できるようにするための大切な機会となっていると感じます。

それぞれの節目において、子どもたちがエンジンに火を灯し継続的に回していられる好循環を生み出していくためには、安全・安心な環境の構築という子どもたちの心への燃料補給が欠かせません。

学級内における関係性が築かれ、年度の中で子どもたちが最も集団の中での過ごしやすさを感じることで残りの3か月の学校生活の充実を図り、4月以降に繋がる有意義な時間とできるよう努めてまいりますので、引き続き、本校の教育活動にご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

学校では、期間に係る節目に加えて、行事等の実施に係る節目を設けることで子どもたちの心のエンジンがよりよく回るよう図っています。その内の一つが遠足的行事です。

年の瀬の20日（水）に、年内最後の遠足的行事として、1年生がはまぎんこども宇宙科学館に出掛けました（新江ノ島水族館の予定をイルカショースタジアムの損壊に伴い変更）。早い時刻の集合となりましたが、初めてのバス利用の行事に向けての期待感が大きく、満面の笑顔で学校を出発していきました。本年度は、仲よし級が新江ノ島水族館（1月にカップヌードルミュージアム横浜）、2年生が雨プログラムで同じくはまぎんこども宇宙科学館（【晴プログラム】は小田原こどもの森公園わんぱくらんど）3年生が横浜八景島シーパラダイス、4年生が雨プログラムで宮ヶ瀬ダム及び水とエネルギー館（【晴プログラム】は宮ヶ瀬ダム及びあいかわ公園）、5年生が足柄ふれあいの村キャンプ（宿泊）、6年生が日光修学旅行（宿泊）を実施しました。行事の性質や発達段階によって差異はありますが、そこに向かうまでの準備を重ね、当日は公共の場での立ち振る舞いをしっかり意識しながら仲間と協力して活動するたのもしい姿が見られました。

あのねえ

自分にエンジンをかける
のは自分自身だからね

相田みつを

「本気」文化出版局より引用

★その環境を整備していくのが大人の責任ー。

